

令和4年度 決算報告書
(第19期)

国立大学法人鳥取大学
(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	10,941	11,076	134	(注1)
施設整備費補助金	457	392	△64	(注2)
補助金等収入	213	1,278	1,065	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	16	16	-	
自己収入	28,929	29,373	444	
授業料、入学料及び検定料収入	3,567	3,341	△226	(注4)
附属病院収入	24,871	25,296	424	(注5)
財産処分収入	0	2	1	(注6)
雑収入	488	733	244	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,809	2,109	299	(注8)
引当金取崩	13	36	23	(注9)
長期借入金収入	254	254	△0	(注10)
目的積立金取崩	-	468	468	(注11)
計	42,634	45,005	2,370	
支出				
業務費	39,564	40,358	793	
教育研究経費	13,330	15,494	2,164	(注12)
診療経費	26,234	24,864	△1,370	(注13)
施設整備費	727	662	△65	(注14)
補助金等	213	1,043	830	(注15)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,809	2,111	301	(注16)
長期借入金償還金	319	314	△5	(注17)
計	42,634	44,490	1,855	
収入－支出	-	515	515	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった基幹運営費交付金及び特殊要因運営費交付金が追加交付されたことにより、予算金額に比して決算金額が134百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、事業計画が変更されたことにより、予算金額に比して決算金額が64百万円少額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、予算金額に計上していなかった補助金の受入により、予算金額に比して決算金額が1,065百万円多額となっております。
また、授業料等減免費交付金が219百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、補助金等収入に計上した授業料等減免費交付金を予算金額に計上していたこと等により、予算金額に比して決算金額が226百万円少額となっております。
- (注5) 附属病院収入については、入院診療単価の上昇等による増収により、予算金額に比して決算金額が424百万円多額となっております。
- (注6) 財産処分収入については、予算金額に計上していなかった不用物品の売払いにより、予算金額に比して決算金額が1百万円多額となっております。
- (注7) 雑収入については、財産貸付料収益の増加及び特許権等実施料収入の増加等により、予算金額に比して決算金額が244百万円多額となっております。
- (注8) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階では予定していなかった民間等からの受託研究等の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が299百万円多額となっております。
- (注9) 引当金取崩については、附属病院承継外職員の退職者数の増加により、予算金額に比して決算金額が23百万円多額となっております。
- (注10) 長期借入金収入については、事業計画が変更されたことにより、予算金額に比して決算金額が0.2百万円少額となっております。
- (注11) 目的積立金取崩については、事業の進捗状況により、前中期目標期間繰越積立金を取り崩したことから、予算金額に比して決算金額が468百万円多額となっております。
- (注12) 教育研究経費については、予算金額にて診療経費へ計上していた人件費を勤務実態に応じて教育研究経費で執行したこと等により、執行額が増加したため、予算金額に比して決算金額が2,164百万円多額となっております。
- (注13) 診療経費については、(注12)に示した理由等により、執行額が減少したため、予算金額に比して決算金額が1,370百万円少額となっております。

- (注14) 施設整備費については、(注2)及び(注10)に示した理由等により、執行額も減少したため、予算金額に比して決算金額が65百万円少額となっています。
- (注15) 補助金等については、(注3)に示した理由等により、執行額も増加したため、予算金額に比して決算金額が830百万円多額となっています。
- (注16) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注8)に示した理由等により、執行額も増加したため、予算金額に比して決算金額が301百万円多額となっています。
- (注17) 長期借入金償還金については、償還計画が変更されたことにより、予算金額に比して決算金額が5百万円少額となっています。

○決算金額と損益計算書上の計上額との差異について

教育研究経費、診療経費の決算金額と損益計算書上の計上額との差異について、固定資産の取得に関わる支出が主な要因となっています。